

# AINAVO HOLDINGS

## BUSINESS REPORT 2013

第59期

株主通信

[2012年10月1日~2013年9月30日]

# トップインタビュー

## 株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、既に皆様もご存じのとおり、当社グループは2013年5月に株式会社インテルグロー及び同社子会社2社を完全子会社化したことを機に、今まで以上に機動的な事業運営と競争力の向上を目指し、2013年10月1日をもちまして持株会社体制に移行し、社名も「株式会社アイナポホールディングス」といたしました。

これまで主として関東圏を営業範囲としていた当社グループは、今回のインテルグローグループの子会社化により、新たに中部エリアにも進出し、営業地域を広げることができました。歴史も企業文化も違う会社の統合は、さまざまな課題を解決する必要がありますが、一步一步これを進めることで貴重なノウハウを当社グループ内に蓄積することができます。

今後はこのノウハウを活かしながら、案件を慎重に精査しつつも、積極的にM&Aによる業容拡大を図っていきたいと考えています。

また、同時に従来どおり新規顧客の開拓、施工能力の向上、業務効率化にも注力し、事業基盤の更なる強化に取り組んでまいります。

配当に関しましては、前期の年間1株当たり14円から20円へと増配させていただきました。今後も業績に応じ積極的な還元を行っていきたいと考えております。

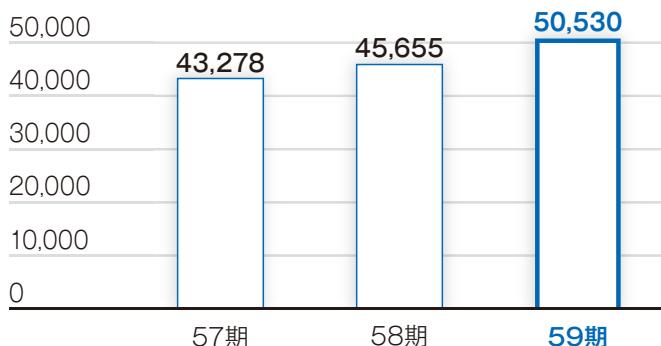
株主の皆様におかれましては、引き続き当社グループへのご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



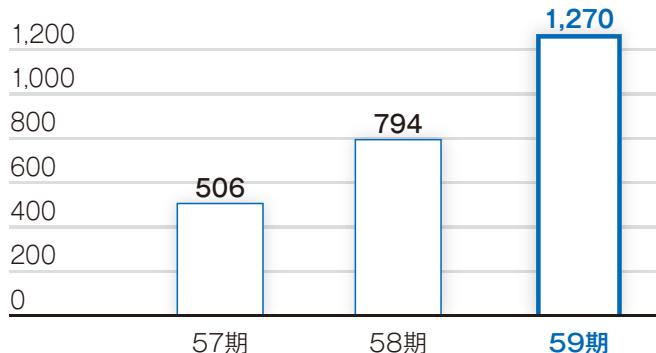
代表取締役社長 阿部 一成

## 連結ハイライト

### ■ 売上高 (単位: 百万円)



### ■ 経常利益 (単位: 百万円)



## 前期の概況についてお聞かせください。

自民・公明連立政権による経済政策の影響に加え、来年4月からの消費税率引き上げを控えた前倒し需要もあり、新設住宅着工戸数は9月まで13か月連続で前年同月上回り、住宅リフォーム工事も増加傾向にあるなど、当社を取り巻く事業環境はおおむね明るいものでした。住宅マーケットの規模は縮小傾向にあることに変わりはないものの、当面は減少スピードが緩やかなものになると予想しています。

そうした中、当社では、住設機器販売及び工事においてハウスメーカー向け取引が指定商材のスペックアウトの影響により減少したものの、分譲住宅メーカーや工務店向け取引によりその穴を埋めることができ、売上高はほぼ前年並みを確保することができました。一方利益面では、利益率の低い大手顧客先向け売上が減少したことに加え、大型物件事業における採算改善により営業利益は大幅な増益となり、目標としていた水準を1年前倒しで達成することができました。

具体的には以下のような取組みを行いました。

まず、技能工の「ハイブリッド化」です。

長引く不況と技能工の高齢化で業界では人材不足が大きな問題になっております。

そうした状況に対し当社では約1年前より、1人の技能工に2つの施工技術を身につけてもらうよう働きかけ、希望者には当社の研修センターで指導を行っています。

技能工にとっては、2つの施工技術を身につけることは稼働日数を増加させることができるとともに、今後の安定した仕事量確保に繋がります。また当社にとっても、施工単価の上昇を抑えることができ、大きなメリットとなります。

当社は技能工を重要なパートナーと捉えています。足元は比較的好調な住宅市場ですが、住宅着工戸数が減少に向かう中でも、当社のみでなく技能工も生き残ることのできる体制を構築することが不可欠だと考えています。

旺盛な需要の下、案件数が拡大している太陽光発電システムですが、家庭用は競争激化で単価が下落し売上はほぼ前年並みでした。一方、工場や倉庫などを対象とした産業用は好調で売上高は約3倍と大幅に増加しました。

余剰電力の買取価格は今後低下することが見込まれるため今後の需要動向は不透明ですが、既に施工技術は確立し、収益性は高いため、今後も着実に拡大させる考えです。

■ 当期純利益 (単位：百万円)



■ 総資産／純資産 (単位：百万円)



最重要課題である新規開拓は、430件の目標をほぼクリアしました。前期発生した指定商材のスペックアウトによるマイナスを埋めることができたのもこの新規開拓による顧客数拡大によるものであり、今後も継続して取組んでまいります。

本年5月に子会社化したインテルグローグループとの統合作業はおおむね順調です。人事改革、人材育成、組織づくり、子会社の整理などを着実に進めています。大改革の後、今期からのシナジー効果発揮を目指しています。

## 今期の見通しはいかがですか？

海外の景気動向など不透明要因もありますが、消費税率の再引き上げ予想による駆け込み需要の継続など、当社を取り巻く事業環境はおおむね前期同様であると考えています。そうした環境下、当社は引き続き以下の3点に注力し、更なる企業価値の向上に向けて取組んでまいります。

### まず第一は新規開拓による顧客数の拡大です。

事業を安定的に運営するためには、顧客数の拡大によって売上の偏りをなくすことが不可欠です。数年前は大手顧客先からの売上が全体の3分の1程度でしたが、今後は5分の1を目標としています。

### 二番目は施工能力の向上です。

各施工技術を更にブラッシュアップするとともに、今期も研修センターをフル活用し、1人の技能工が2つの施工技術を身につける「ハイブリッド化」を進めていきます。

### 三番目は業務効率の向上です。

業務の効率化は中長期の経営戦略のひとつとして掲げ、以前から取組んでおり着実に成果は上がっておりますが、まだ無駄が多いというのが率直なところです。

例えば顧客からの発注内容が不明確なケースが残念ながら目につきます。こうしたケースは工事後のクレームや、やり

直しに繋がる場合が多々あり、粗利率を大きく低下させてまいります。

当社の粗利率は業界平均に比べれば高いものの、着工前の入り口部分の管理をしっかりと行い、後処理を減少させることで利益率を更に改善させることができますので、この意識を徹底させてまいります。

その他、当社グループ成長のためにM&Aを今後も積極的に行っていく考えです。

インテルグローのように、営業地域の拡大を目指すM&Aと同時に、もう少し小規模のM&Aも手掛けていきます。

当社の属する業界では、各施工工事を行うに際しさまざまな資格保有者が必要です。

M&Aは一般的に、時間と売上を買うことが中心的な目的と言われるますが、当社においては有資格者を効率的に確保できる有効な手段であるとも認識しています。

有資格者は在籍しているものの、事業継続が困難になっている企業がM&A案件として持ち込まれるようになってきました。そうした企業を買収し、グループ内の事業会社と合併させることで事業会社の事業基盤をより強固なものにしてまいります。

当社では株主還元を重要な経営目標と考えております。前期の年間配当は1株当たり6円増配し、20円とさせていただきますが、M&Aのための内部留保を確保しつつ、利益水準に応じて積極的な還元を行っていきたいと考えています。

株主の皆様におかれましては当社グループの今後には是非ご注目くださいますようお願い申し上げます。



# 部門別概況

## ■ 戸建住宅事業

戸建住宅事業の売上高は、434億67百万円と前期に比べ49億66百万円(12.9%)の増収、営業利益は17億53百万円と前期に比べ18百万円(1.1%)の増益となりました。

重点課題として従来から取り組んでいる新規顧客開拓につきましては、取引金額が前年を大きく上回ることができました。また、建材及び外壁部門ならびに住宅設備部門ともに売上を伸ばすことができました。



## ■ 大型物件事業

大型物件事業の売上高は、70億63百万円と前期に比べ90百万円(1.3%)の減収、営業利益は2億47百万円(前期は2億41百万円の営業損失)となりました。

ここ数年業績面において非常に厳しい状況にありましたが、リニューアル工事や新商材の工事に注力する一方、採算性確保への取組みを最優先課題として、選別受注や原価管理の徹底、リニューアル市場や新商材の施工への取組み、新規市場ゼネコンの開拓、ベトナムへの作図移管によるコスト削減などを積極的に進めてまいりました。



# トピックス

当社は2013年10月1日にアイナボホールディングスに社名を変更し、アベルコ、温調技研、AVELCO VIETNAM、インテルグループを有する純粋持株会社となり、事業活動は子会社6社が専念する体制となりました。

この社名の意味するものは、「役に立つ・有益な」という意味の英語AVAIL（アベイル）と、「革新」という意味の英語INNOVATION（イノベーション）に、「達成する・成し遂げる」という意味のラテン語NAVO（ナボ）を組み合わせた造語です。

住宅に携わるということでアイ（愛）の意味合いも持たせました。

人々の快適で美しい生活空間を創造し、将来にわたって貢献していく企業となることをこの社名に託しました。

## グループ企業理念

### 『AINAVO Diamond』



私たちグループは、社員一人一人が『AINAVO Diamond』という企業理念を胸に、五つの環境の中においてひとときわ輝き、なによりも硬く壊れないダイヤモンドのような存在となって、すべての人々に愛される企業づくりを目指します。

今後もアイナボホールディングスをどうぞよろしくお願いいたします。



ブース壁面にディスプレイした「Maristo®」製品



ブース全景



Maristo®  
「豊紋(ブンブン)」

10月26日～11月4日の10日間にわたり明治神宮外苑にて開催された国際的クリエイティブイベント「TOKYO DESIGNERS WEEK 2013 DESIGN NEXT展」に当社オリジナルタイル「Maristo®」を出展いたしました。

28年目を迎えるこのTOKYO DESIGNERS WEEKは建築、インテリア、プロダクトなど優れたデザイン、アートが世界中から集結し、例年来場者が10万人を超える大規模イベントとして知られています。

Maristo®は「街中で無意識に目にしているタイルへの再認識」をテーマに、モノクロームで群衆を描くアーティスト添野郁さんと、たくさんの六角形の穴が空いたデザインのタイル「豊紋(ブンブン)」のコラボレーション作品を展示しました。

この作品は、通路面の壁に空いた長方形の穴から中を覗くとタイルに描かれた街中のあらゆるシーンが見えるというデザインで、今までにない空間づくりのアプローチとして国内外を問わず多くのクリエイター、デザイナーの方々に好評を博しました。

Maristo®は、今後もタイルの新たな可能性と魅力を伝えていけるよう努めてまいります。

# TOKYO DESIGNERS WEEK 2013

# 連結財務諸表

## ■ 資産の部

新規連結子会社が加わったことにより、現金及び預金が21億24百万円、土地及び建物等の有形固定資産が18億29百万円増加したことにより、52億4百万円増加し、280億40百万円となりました。

## ■ 負債の部

新規連結子会社が加わったことにより、支払手形・工事未払金等が22億27百万円、借入金(短期・長期)が10億36百万円増加したことにより、41億37百万円増加し、136億65百万円となりました。

## 連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第58期	第59期
<b>資産の部</b>	22,835	<b>28,040</b>
流動資産	17,529	<b>20,705</b>
固定資産	5,305	<b>7,334</b>
有形固定資産	4,068	<b>5,897</b>
無形固定資産	162	<b>125</b>
投資その他資産	1,074	<b>1,310</b>
<b>資産合計</b>	22,835	<b>28,040</b>

科目	第58期	第59期
<b>負債の部</b>	9,527	<b>13,665</b>
流動負債	8,836	<b>12,283</b>
固定負債	691	<b>1,382</b>
<b>純資産の部</b>	13,307	<b>14,374</b>
株主資本	13,287	<b>14,312</b>
その他の包括利益累計額	19	<b>61</b>
<b>負債・純資産合計</b>	22,835	<b>28,040</b>

## 連結損益計算書

(単位:百万円)

科 目	第58期	第59期
売上高	45,655	<b>50,530</b>
売上原価	40,146	<b>43,568</b>
売上総利益	5,508	<b>6,962</b>
販売費及び一般管理費	4,820	<b>5,860</b>
営業利益	688	<b>1,101</b>
営業外収益	125	<b>193</b>
営業外費用	18	<b>24</b>
経常利益	794	<b>1,270</b>
特別利益	—	<b>1</b>
特別損失	33	<b>2</b>
税金等調整前当期純利益	761	<b>1,268</b>
法人税、住民税及び事業税	335	<b>630</b>
法人税等調整額	70	<b>△56</b>
少数株主損益調整前当期純利益	355	<b>695</b>
少数株主利益	—	<b>12</b>
当期純利益	355	<b>682</b>

## 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科 目	第58期	第59期
営業活動によるキャッシュ・フロー	77	<b>3,229</b>
投資活動によるキャッシュ・フロー	△387	<b>239</b>
財務活動によるキャッシュ・フロー	△135	<b>△1,344</b>
現金及び現金同等物の増減額	△445	<b>2,124</b>
現金及び現金同等物の期首残高	5,012	<b>4,567</b>
現金及び現金同等物の期末残高	4,567	<b>6,691</b>

## ■ 期末配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を重要な経営方針のひとつとして位置づけ、業績に応じ可能な限り安定的な配当の継続を基本方針としております。

期末配当金については下記のとおり決定いたしました。

期末配当金

1株につき金12円00銭

期末配当の効力発生日ならびに支払開始日

2013年12月20日(金)

# 会社概要 (2013年9月30日現在)

## 会社概要

社名	株式会社アベルコ
代表者名	阿部 一成
創業	大正13年3月
設立	昭和30年3月
本社所在地	東京都足立区鹿浜3丁目3番3号
資本金	896百万円
事業内容	タイル・住宅機器・衛生設備機器・ 空調機器・太陽光発電システム・ 管材・輸入石材の卸販売及び 設計施工・工事請負
関連会社	温調技研株式会社 株式会社インテルグロー 株式会社フォー・スタイル 株式会社アイズ 株式会社アベルコ分割準備会社 AVELCO VIETNAM Co.,Ltd.
連結売上高	50,530百万円(2013年9月期)
連結社員数	711名
取引銀行	株式会社三井住友銀行 株式会社東京都民銀行 株式会社三菱東京UFJ銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社みずほ銀行

## 役員 (2013年12月19日現在)

代表取締役	阿部 一成
専務取締役	岡本 孝一
常務取締役	鋤柄 禎彰
常勤監査役	佐藤 和男
監査役	川上 敏宏
監査役	田口 明

## 大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
マルティス株式会社	1,116,000	9.65
株式会社アベタ	545,000	4.71
ホールセール株式会社	545,000	4.71
アベルコ従業員持株会	542,490	4.69
株式会社タクルコ	484,300	4.19
株式会社マユルコ	440,300	3.81
阿部一成	337,505	2.92
阿部哲二	321,093	2.78
阿部太一	319,593	2.76
阿部亮平	319,592	2.76

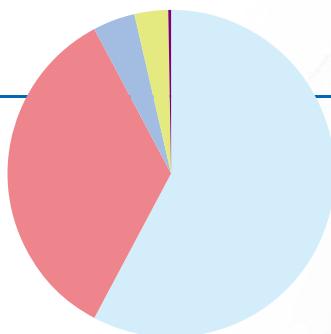
(注)持株比率は、自己株式を控除して計算しております。

## 株式の状況

発行可能株式総数	27,000,000株
発行済株式の総数	11,647,820株
株主数	1,894名
単元株式数	100株

## 所有者別分布状況

証券会社	0.39%
金融機関	3.23%
外国法人等	4.16%
その他法人	34.53%
個人その他	57.69%



## IR情報

IR情報は、当社ホームページでもご覧いただけます。

<http://www.ainavo.co.jp>

掲載写真はホームページ内  
カタログにてご覧になれます。



## ネットワーク

首都圏特需営業本部	東京TS支店	
	横浜TS支店	
営業統括本部	東京支店	千葉支店
	東京LIVE支店	千葉中央支店
	東京CT支店	船橋営業所
	東京住設支店	埼玉支店
	南東京支店	埼玉西営業所
	東京東営業所	水戸支店
	六本木ショールーム	つくば営業所
	城南支店	群馬支店
	西東京支店	栃木支店
	神奈川支店	郡山支店
	湘南支店	大阪支店
	相模原営業所	

# 株主メモ

事業年度	毎年10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月開催
基準日	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 定時株主総会 …… 毎年9月30日</li> <li>● 期末配当金 …… 毎年9月30日</li> <li>● 中間配当金 …… 毎年3月31日</li> </ul>

● そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

## 株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座のご利用がない株主様は、下記電話照会先までご連絡ください。

## 株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

## 株主名簿管理人 事務取扱場所

東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**郵便物送付先** 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

**電話照会先** ☎ **0120-782-031**

**インターネットホームページURL** <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

## 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

## 公告の方法

当社のホームページに掲載します <http://www.ainavo.co.jp>

## 上場証券取引所

東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)



株式会社アイナボホールディングス  
AINAVO HOLDINGS Co.,Ltd.

本社: 〒123-0864 東京都足立区鹿浜3-3-3 TEL.03-4570-1316(代) <http://www.ainavo.co.jp>

